

第四十四回帝國議會
院
都市計畫地方委員會職員ノ恩給及
遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案
市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改正法律案
府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退職料及遺族扶助料法中改正法律案
明治三十九年法律第十三號中改正法律案
明治三十九年法律第十三號中改正法律案
明治三十九年法律第十三號中改正法律案
明治三十九年法律第十三號中改正法律案

委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十年三月十二日議長ノ指名ヲ以テ左ノ
通り選定セラレタリ

八田 宗吉君 佐藤寅太郎君 西村 伊亮君

吉木 陽君 龍野周一郎君 江崎幸太郎君

荒川 五郎君 樋口 秀雄君 石川長右衛門君

同月十四日午前十時四十分委員長理事互選ノ爲各委
員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

八田 宗吉君 佐藤寅太郎君 龍野周一郎君

荒川 五郎君 樋口 秀雄君

年長者龍野周一郎君投票管理者トナル

○投票管理者(龍野周一郎君)ハ委員長及理事ノ互選
ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○佐藤寅太郎君ハ投票ヲ用キス八田宗吉君ヲ委員長
ニ、吉木陽君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理者龍野周一郎君ハ佐藤君ノ意見ニ異議
ナキヲ認メ八田宗吉君ハ委員長ニ吉木陽君ハ理事ニ
當選シタル旨ヲ宣告ス

〔此ノ時投票管理者退席シ八田宗吉君委員長
席ニ著ク〕

○委員長(八田宗吉君)ハ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ
宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

內務省參事官 山縣 治郎君

文部省普通學務局長 赤司應一郎君

文部省參事官 武部 欽一君

文部省書記官 關屋 龍吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ
關スル法律案

市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改
正法律案

府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退職料及
遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

第五類第五十號 都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

遺族扶助料法中改正法律案

○委員長(八田宗吉君) 是ヨリ開會致シマスガ、本
委員會ニ委託サレタル案ハ都市計畫地方委員會職員
ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案其外五件デアリ
マス、今內務省ノ政府委員ガ出席サレテ居リマス、
先ヅ都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ
關スル法律案ノ提案ノ説明ヲ一ツ……

○山縣政府委員 此法案ノ大體ノ説明ヲ申上ゲマス
ガ、御承知ノ通り都市計畫委員會ニハ、中央委員會ト
地方委員會トガアリマス、此中央委員會ノ經費ハ國
費ヲ以シテ之ヲ支辨シテ居リマスルガ、地方委員會ノ
經費ハ當分ノ內府縣ノ負擔ニナツテ居リマス、ソレデ
アリマスカラ地方委員會ノ職員即チ之ニ屬スル所ノ
技師、技手、書記等ハ國ノ官吏デアリナガラ、此俸給
ハ地方費カラ出テ居ル、即チ政府ヨリ俸給ヲ受ケザ
ル官吏、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、官吏恩給法
ニ依リマスルト……官吏恩給法ノ第九條、第十四條
ニ依リマス、政府ノ官吏デアツテモ政府ヨリ俸給ヲ
受ケザル職ニ在ル間ハ、其在官年數ヲ通算シナイコ
トニナツテ居リマス、又其官ニ在ル間ハ恩給ヲ受ク
ルノ權利ガ無い、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、軍
人恩給法ニ就テモマア大體同一ナ譯デアリマス、隨
テ此遺族扶助法ニ依ル所ノ國庫納金モ要ラナイ、斯
ウ云フ結果ニナツテ居リマス、所ガ是等ノ官吏ハ單ニ
其俸給ガ地方費カラ出テ居リマスケレドモ、其職務
ノ性質カラ申シマスルト、一般官吏ト何等違ヒガ無
イノデアリマス、ソレ故ニ同ジク國ノ官吏デアリマ
スル以上ハ、他ノ一般官吏ト同一ノ恩典ニ浴セシム
ル恩給ヲ與ヘルコトニ致シマスルシ、又其在職年限
ハ恩給ニ通算スルコトニ致シマスシテ、安ンジテ其職
責ヲ盡サシムル必要ガアル、斯ウ云フ譯デ、今回本案
ヲ提出シタル譯デアリマス

○荒川五郎君 此法律ニ依ツテ均霑ヲ受ケルヤウナ
地方費支辨ノ官吏ガ他ニモアリマセウカ、之ヲ第一

ニ伺ヒマス

○山縣政府委員 此法律ニ依リマシテハ、都市計畫
地方委員會ノ職員ノミデアリマスルガ、之ニ類シタ
モノヲ申上ゲマスルト、郡書記デアリマス

○荒川五郎君 此法律ノヤウナ割合ニ、他ノ法令デ
地方費官吏ガ斯ウ云フヤウナ例ガアリマスカ

○山縣政府委員 其例ヲ申シマスルト、主ニ顯著ナ
ルモノハ郡區判任官即チ郡書記、郡視學等デアリマ
ス、是等ハ國ノ官吏デアリマシテ、其俸給ガ地方費
カラ出テ居リマスカラ、矢張同ジ結果ニナツテ居リマ
ス

○荒川五郎君 其分ハ是ト同様ニナツテ居ルノハ、何
ノ法律デサウナツテ居リマスカ

○山縣政府委員 ソレハ官吏恩給法ニ明文ガアリマ
シテ、サウナツテ居リマス、官吏恩給法第九條ト第十
四條ニ明文ガアリマシテ、サウ云フコトニナツテ居リ
マス、參考ノ爲メニ申上ゲマス、第九條ニハ「郡區判
任官及臺灣總督府地方廳稅務吏ヲ除ク外」ト斯ウ
云フ風ニ明文ガ書イテアリマス、第十四條ハ矢張ソ
レト同様ニ「郡區判任官及臺灣總督府地方廳稅務吏
ヲ除ク外」ト斯ウ云フヤウニ特別ニ明文ガ官吏恩給法
ノ中ニ設ケテアリマス

○荒川五郎君 地方費官吏デ此官吏恩給法、遺族扶
助法、軍人恩給法ノ適用ヲ受クルコトガ、官吏恩給
法ニ依ツテ出來得ルモノナラバ、此處ニ特ニ特別ナル
法律ヲ制定セラレナイデモ、其官吏恩給法ノ中ヲ修
正改正セラレテ然ルベキモノト思フノデアリマスノ
ニ、特ニ之ニ限ツテ斯ル單行ノ法律ヲ制定セララル
必要ハ何處ニアルノデアリマスカ、全體多クノ規則
ハ成ベク簡明ニ人ニ知リ易イヤウニアリタイト思フ
ノデアリマスノニ、他ニモ是ト同種ノ地方費文官ガ
其恩典ヲ受クルト云フコトニナツテ居ル以上ハ、此都
市計畫地方委員會ノ職員モ、ソレハ同様ニ其規定ニ
改正ヲ加ヘラレテ、成ベク單行法律ヲ澤山出サレナ

イ方が、簡便ニシテ要ヲ得テ居ルト思フノデアリマス、然ルニ特ニ之ヲ單行ノ法律トシテ提出セラレナケレバナラス理由ハ何處ニアリマスカ

○山縣政府委員 洵ニ御尤ナ御質問デアリマス、併シ之ヲ單行法ト致シマシタニ就キマシテハ、多少理由ガ有ルノデアリマス、第一ハ此都市計畫地方委員會ノ職員ノ俸給ガ地方費カラ出テ居ルト申シマスノハ、是ハ一時ノ便宜デアリマシテ、永久的ノモノデハナイノデアリマス、ソレ故ニ法律ニモ「當分ノ内府縣ノ負擔トス」ト書イテアリマス、ダカラ斯ウ云フ場合ニハ矢張單行法ニシテ一般法律ヲイデラナイ方ガ宜イデアラウ、斯ウ云フ考デアリマス、第二ハ立法上ノ技術ト致シマシテ、法律ヲイデラコトニナリマスト、三ツノ法律ヲ修正シナケレバナラス、官吏恩給法、遺族扶助法並ニ軍人恩給法、此三ツノ法律ヲ改正スルヨリハ、矢張一ツノ法律ヲ改正シタ方ガ簡便デアラウト云フ立法ノ技術ノ點カラ、此二ツノ點ヨリ之ヲ單行法トシタ次第デアリマス、單行法トシタ例モ矢張臺灣ナリ朝鮮ナリニ例ガアリマスカラ、政府ノ見ル所ハ寧ロ此方ガ簡便デアラウ、斯ウ云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス

○荒川五郎君 説明ノ趣旨ハ能ク了シマシタ、而シテ此都市計畫地方委員會職員ハ、目下ドノ位居ルノデアリマスカ

○山縣政府委員 官制ニ依リマスと云フト、六大都市ニ就キマシテ各二十人、即チ定員ハ百二十人デアリマス、現在ノ職員ノ數ヲ申上ゲマスと云フト、五十七人程アリマス、五十七人ノ人ガ此法律ガ出來レバ、ソレニ依ッテ恩典ヲ受ケルコトニナルノデアリマス

○荒川五郎君 質問終リマシタ

○委員長(八田宗吉君) 其次、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料中改正法律案、其他ハ多ク文部省ニ屬シテ居ル法律案ノヤウデアリマス、文部省ノ政府委員ガ出席シマシタカラ、一應政府カラ提案ノ理由ヲ説明サレンコトヲ望ミマス

○赤司政府委員 先ヅ第一市町村立小學校教員遺族扶助料法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、御承知ノ通り先般市町村立小學校教員ノ俸給ニ

關シマスル所ノ規定ヲ改正ヲ致シタノデゴザイマス、其結果ト致シマシテ退隱料等ノ支給額ヲ、之ヲ相當サセル所ノ必要ガアルノデアリマス、是ガ本法律案ヲ改正致シマシタ第一ノ點デアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ現行法ノ規定ニ依リマスルと云フト、退隱料ノ受給者ガ公務ニ就キマシタ場合ハ、退隱料ノ差額停止ヲ受ケルコト云フ事實ガアルノデアリマス、是等ノ關係ニ就キマシテ、從來此退隱料ノ受給者ノ待遇上、遺憾ナルニ感ジマシタ點ガゴザイマスルカラシテ、此點ヲ改正ヲ致シタイト云フノガ第二ノ要點デアリマス、第三ノ點ハ退隱料ヲ貰ヒマスル場合ニ、當テ退職給與金ヲ受ケテ居リマスル場合ニハ、之ヲ差引イテ支給スルコト云フコトニナツテ居ッタノデアリマス、是ハ他ノ恩給又ハ他ノ退隱料受給者ニ較ベマシテ、權衡ヲ失シテ居ルト云フ憾ガアルノデアリマスカラシテ、之ヲ改正致シタイト、斯様ナ趣意ニ於キマシテ此改正案ヲ提出致シマシタノデアリマス、只今申上ゲマシタ三點ガ此改正ノ主ナル點デゴザイマス、ソレカラ次ニ府縣立師範學校長俸給並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ノ説明ヲ致シタイト思ヒマス、是ハ御承知ノ通り從來公立學校ノ職員ニ對シマスル所ノ退隱料及遺族扶助料ノ支給ヲ裁定致シマスル事務ハ、從來文部省ニ於テ之ヲ處理シテ居ッタノデゴザイマスルガ、是等ノ恩給ニ關シマスル事務ノ統一上之ヲ内閣恩給局ノ主管ニ移シマスと云フコトガ、改正ノ一ツノ要點デアリマス、ソレカラ又第二ノ要點ハ小學校ノ教員ノ退隱料法ノ説明ヲ致シマシタト同様ニ、此公立學校ノ職員ヲ退隱料ヲ受ケテ居リマスル者ガ、公務ニ就キマシタル場合ニ、矢張差額停止ノ關係ガ起ツテ參ルノデアリマス、是ガ受給者ノ待遇上ノ遺憾ナル點アルヲ認メマシテ、之ヲ改正スル爲メニ此本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、此第二ノ點ニ付キマシテハ、小學校ノ教員ト全然同一ノ趣意ニ出デタモノデゴザイマス、ソレカラ次ハ明治二十九年法律第十三號中改正法律案ノ説明ヲ致シタイト思ヒマス、是ハ主ト致シマシテ三點ニ矢張涉ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ現行ノ規定ニ依リマスルと云フト、市町村立小學校

教員カラ致シマシテ、教育文官ニ轉任ヲ致シ、ソレカラ非教育文官ニ轉任致シタル者ニ就キマシテハ、此者ガ退官又ハ死亡ヲ致シマシタ場合ニ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スル途ガナカッタノデアリマス、之ニ對シマシテ此退隱料及遺族扶助料ヲ支給シタイト云フ考カラ修正ヲ致シタノデアリマス、是ガ第一ノ點デアリマス、第二ノ點ハ小學校ノ教員カラ致シマシテ、他ノ待遇文官ニ轉任ヲ致シタル者ガ、退職又ハ死亡ヲ致シマスル場合ニ、退隱料又ハ扶助料ヲ受ケル所ノ途ハ、現行規定ニ於テハ無イノデアリマス、之ヲ改正致シマシテ此退隱料若クハ扶助料ヲ支給シタイト云フコトガ、第二ノ要點デゴザイマス、第三ノ點ハ是ハ極ク小サナ問題デゴザイマスルガ、同一ノ人デアッテ同一ノ事由ニ依ッテ退隱料、官吏恩給又ハ軍人恩給ヲ併セ受ケテ居リマシタ者ガ、其何レカ一ツヲ撰ビテ請求スルコトガ出來ルト云フ規定ノ中ニ「國庫ヨリ」ト云フ文字ガアリマスノヲ削除致シマシテ、ソレニ代ヘテ「同一ノ事由ノ爲メニ」ト云フコトニ修正ヲ致シタイト云フノデアリマス、是ハ實質ニ於キマシテハ差シタル變化ハナイノデゴザイマスルガ、「國庫ヨリ」ト申シマスルと云フト、此小學校ノ教員ノ退隱料ハ國庫カラト云フヨリハ、寧ロ府縣ヨリト云フ方ガ穩當デアルト思ヒマスカラ、是等ノ字ヲ削除致シマシテ此修正ヲ致シタイト、是様ナル譯デ修正ヲ致シマシタノデアリマス、以上ノ三點ガ此法律第十三號ノ改正ノ要點デアリマス、大體ノ説明ハ是ダケデアリマシテ、尙ホ御尋ガゴザイマスレバ御答ヲ申上ゲタイト考ヘマス

○荒川五郎君 小サイ質問ガアルノデアリマス、特ニ一問一答ヲ許サレンコトヲ希望致シマス、先ヅ此第五條ノ「公務」ト云フコトヲ——退隱料ノ支給ニ付在官在職年數ヲ通算スルコトヲ得ル官職ト云フノハ、言葉ヲ換ヘテ言フト、教育事務ニ關係アル官職、斯ウ解釋シテ宜イノデスカ

○武部政府委員 大體御尋ノ通りデアリマス

○荒川五郎君 大體ハ教育事務ニ從事スル官職ト云フコトニ承リマシタガ、大體デハナク小體デハ違ヒ

行ノ規定ニ依リマスルと云フト、市町村立小學校

教員カラ致シマシテ、教育文官ニ轉任ヲ致シ、ソレ

カラ非教育文官ニ轉任致シタル者ニ就キマシテハ、

此者ガ退官又ハ死亡ヲ致シマシタ場合ニ退隱料又ハ

扶助料ヲ支給スル途ガナカッタノデアリマス、之ニ對

シマシテ此退隱料及遺族扶助料ヲ支給シタイト云フ

考カラ修正ヲ致シタノデアリマス、是ガ第一ノ點デ

アリマス、第二ノ點ハ小學校ノ教員カラ致シマシ

テ、他ノ待遇文官ニ轉任ヲ致シタル者ガ、退職又ハ

死亡ヲ致シマスル場合ニ、退隱料又ハ扶助料ヲ受ケ

ル所ノ途ハ、現行規定ニ於テハ無イノデアリマス、

之ヲ改正致シマシテ此退隱料若クハ扶助料ヲ支給

シタイト云フコトガ、第二ノ要點デゴザイマス、第三

ノ點ハ是ハ極ク小サナ問題デゴザイマスルガ、同一

ノ人デアッテ同一ノ事由ニ依ッテ退隱料、官吏恩給

又ハ軍人恩給ヲ併セ受ケテ居リマシタ者ガ、其何レ

カ一ツヲ撰ビテ請求スルコトガ出來ルト云フ規定ノ

中ニ「國庫ヨリ」ト云フ文字ガアリマスノヲ削除致

○武部政府委員 小體ノ違ヒトハドウ云フ事カ分リマセヌガ、是ハ官公立學校ノ校長、ソレカラ教員、書記或ハ又教育事務ニ從事スル文官、即チ文部省ノ官吏デアルトカ、或ハ府縣ノ學務官吏デアルトカ云フヤウナ者ヲ指シテ居ルノデアリマシテ、大體ト申上デマシタガ、或ハ全體ト申シテモ宜イカモ知レスト思ヒマス

○荒川五郎君 教育事務ニ從事スル官吏ハ勅令ヲ以テ定メラレタルモノデアリヤウニ思フノデアリマスガ、ソレトハ此改正案ノ文句ガ違フノデアリマス、サウスルト勅令ガソレニ伴ウテ改正セラレルモノト思フノデアリマスガ、其邊ノ勅令ノ文句モ知リマセヌノデ、更ニ御尋致シマス

○武部政府委員 即チ荒川サンノ御尋ノ通り勅令ニ揭ゲテアルモノヲ指スノデアリマス

○荒川五郎君 其中デ郡長ハ含マレヌノデアリマスカ

○武部政府委員 郡長ハ含マヌ積リデアリマス

○荒川五郎君 縣視學、郡視學ト云フヤウナモノハ無論合マツテ居ルト思ヒマスガ、其縣郡視學ノ前ニ視學ト全ク同様ノ小學督業ト云フモノガアツテ、視學ノ事務ヲ扱ウタモノデアリマス、此小學督業ト云フモノハ、其中ニ入ルモノト解釋セラレテ居ルノデアリマスカ

○武部政府委員 小學督業ハ包含シテ居リマス

○荒川五郎君 小學督業ハ教育文官ニ確ニ包含シテ居ルノデアリマスカ

○武部政府委員 ソレハ教育文官デアリマセヌケレドモ、小學訓導トシテ入レデアリマス

○荒川五郎君 當然此中ニ入ルベキモノト解釋セラレテ居ルノデアリマスカ

○武部政府委員 御尋ノ通りデアリマシテ、昨年法律十號ヲ以テ受恩給者ノ恩給退隱料額等ガ増額ニ相成リマシテ、其規定ノ結果ハ増額ニナル譯デアリマスガ、併シ法律上ノ解釋トシテ、多少無理ナ點モアリマスノデ、ソレデ過日本院ヲ通過致シマシタ大正九年法律十號中ノ改正案ニ於テ其點ヲ明カニシテ、サウシテ皆増額スルコトニ致シマシタ

○荒川五郎君 年功加俸ヲ差額ノ支給外トセラレンケレバ、再就職職員ハ如何ニ年功ヲ積ムモ遂ニ加俸ノ恩典ニ浴スルコトガ出來マセヌ、ソレデハ加俸ノ恩典ヲ特ニ設ケラレタ趣意ニ反スルト思ヒマスカラ、年功加俸ハ差額支給外トセラルベキモノト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○武部政府委員 年功加俸ハ矢張是ハ俸給ノ内デアリマスカラ、ドウモ俸給外ニソレヲ加算スルト云フコトハ、性質上出來ナイカト思ッテ居リマス

○荒川五郎君 一寸分リ易イヤウニ申上デマスガ、廢校ノ爲メニ自然退職トナツタ者ガ、直ニ新設學校ニ就職スル豫定デアツタ者ガ、其新設學校ノ認可ガ遅レル場合ガ往々アルノデアリマス、縣廳或ハ政府ノ事務ノ都合デ認可ガ遅レテ、六十日後ニナツタ爲メニ年功加俸ヲ受クルノ權利ヲ失フト云フ場合ガ實際ニ於テアルノデスガ、是ハ執務ノ都合デサウ云フコトニナツタモノデ、其人ノ自己ノ都合デ六十日ヲ過ギタノデハナイノデアリマスカラ、此法律ヲ改正セララル場合ニハ、斯ノ如キモノハ此恩典ニ浴セシメルヤウニセラレタラ至當ト心得マスガ、如何デゴザイマス

○武部政府委員 サウ云フ實際ノ事實ヲマダ實ハ甚ダ寡聞ニシテ存ジナカッタノデアリマスガ、若シ取扱上カラシテ、サウ云フヤウナ不都合ナ結果ガ生ジタトスルナラバ、無論又取扱上改正致シマシテ、ソレナ事ノナイヤウニヤツテ行カナケレバナラスト思ヒマス

○荒川五郎君 先日ノ本會デモ御尋シタノデアリマスガ、准教員ハ目下全國ニ一萬六千人モ居ルノデアリマス、サウシテ准教員ナル者ハ他ノ囑託若クハ代

用教員トハ別デアリマシテ、相當ナ資格ヲ持ッテ成ッテ居ル者デアアル、隨テ義務教育費國庫負擔法ニモ、正教員准教員トシテ准教員モ其目安ニ加ヘラレテアルノデアリマス、然ルニ此恩給ニ付テハ、全ク此准教員ヲ除外セラレテ居ルト云フコトハ不公平デアルト思ヒマス、殊ニ職務中ニ怪我ヲ致ストカ、癱瘓不具ニナルト云フヤウナ場合ニ等シク職務ニ依ッテ、サウ云フ不幸ヲ見タモノヲ、准教員ダト云ッテ特別ノ扱ヒヲスルト云フコトハ、甚ダ不權衡ト思ヒマス、疾病其他ニ罹ルモノハソレカラ裕カニハ暮スコトガ出來ヌニシテモ、職務ニ從事シテサウ云フ怪我ヲ受ケタノダカラ、辛ウジテハ暮シ得ルト云フヤウナ途ヲ開カネバナラヌノガ人道ト思ヒマス、然ルニ職務ガ些々タルモノデアアルカラ、ソレニハ扱ヒヲ極メテ薄ク、多クノ場合ニハソレガナイ、唯タ七條ニ於テ退職現在給料ノ四分ノ一ヲ與ヘルトナツテ居ルノデアリマス、職務ノ高下ニ依ッテ生活狀態ニハ高下ガアリマセウケレドモ、生活シ得ルト云フコトハ此法ノ根柢ニナラネバナラヌト思フノデアリマス、隨テサウ云フヤウナ場合ハ正教員、准教員ヲ分ツ必要ハナイト心得マス、其等ノ點ニハ同一ニセラレ尙ホ准教員ニ退隱料ハ支給シナイデモ、准教員デアツタ年數ヲ正教員ニ算スルト云フコトニナルト、本日ノ准教員ノ者モ其在職年數ハ他日正教員ニナツタ場合ニハ、通算シテ貰ハル、カラト云フノデ皆勉強シテ修養ニ努メテ其等ガ正教員ニ進ンデ來ルノデアリマス、准教員ヲ正教員ニ向上セシムル上ニ於テモ、准教員ノ在職ノ年數ヲ、正教員ノ在職年數ニ通算スルト云フコトハ、教育上望ムル正教員ヲ多クスル上ニ於テモ、極メテ必要ダト思フノデアリマシテ、先年岡田文部大臣ノ當時私共其說ヲ申シタ所ガ、岡田文部大臣ハ准教員ニ特ニ退隱料ヲ與フルト云フコトハイカスカモ知レヌガ、ソレヲ通算スルト云フコトハ、正教員ヲ多クスル上ニ於テモ好イ案デアアル、此法律ヲ改正スル機會ガアッタナラバ、サウ云フヤウニシタイ、斯ウ云フ文部大臣ノ言明デアツタノデアリマス、然ルニ今此改正案ガ提出セラル、ニ當ッテ、私共ガ最モ大事ト思フ此點ガ缺ケテ居ルノデアリマス、由來政府ノ仕事ハ上ニ厚クシテ

下ニ薄カッタノデアリマスガ、此近年ノ思想ガ變テ來ルニ從ヒ、下ニ厚クシテ上ニ薄クスルヤウニ思給ナドノ改正モアッタノデアリマス、然ルニマダ此准教員ニ此思想ノ變化ノ恩典ガ及バヌト云フコトハ、甚ダ遺憾ト思フノデアリマス、殊ニ下級職員ニ向ッテ特段ノ注意ヲ拂ハル、ト云フコトガ、爲政者ノ最モ要トスル所ト心得ルノデアリマス、今日ノ時代ヲ俟タズシテ、既ニ岡田良平氏ガ局ニ當ッテ居ラル、時代スラ、當局大臣ハ其必要ヲ言明セラレタ位デアルノデアリマス、況ヤ今日ニ至ッテハ一層其必要ヲ認メルト思フノデアリマスカラ、本案此點ニ手ガ入セラレテナイト云フ所ハ、遺憾トスルノデアリマスガ、此場合ニ於テ是非サウ云フ修正ヲ願ヒタイトイフノデアリマスガ、之ニ對シテ當局ノ御意見御説明ヲ願ヒマス

○赤司政府委員 私カラ御答申上ゲマス、御承知ノ通り教員ノ職務ニ關係ノ方カラ御覽ニナリマスルト云フト、先ツ大體ノ場合ニ於キマシテ、准教員ガ正教員ノ補助ヲ致シテ居ルヤウナ場合モアリマス、又正教員ニ代リマシテ相當學級ヲ擔任シテ、獨立ノ正教員ト殆ト同一ノ職務ヲ執ッテ居ルヤウナ場合モアルノデアリマス、是等ノ正教員ト同一ノ職務ヲ執ッテ居リマスルヤウナ場合ニ就キマシテハ、其方面カラノ觀察ヲ致シマスルト云フト、洵ニ御議論ノ通りニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ一方ニ於キマシテハ、今日總テノ恩給法、恩給制度ノ立テ方ニ於キマシテ、官吏ノ恩給法ニ致シマスレバ、文官ト云フノニ範圍ヲ限ッテ居リマシテ、其仕事ノ補助トナルヤウナ吏員、雇員若クハ囑託トデモ申ス者ハ恩給ノ方法ガナインデアリマス、是等ノ恩給制度ハ彼此互ニ權衡ヲ保チ、其宜シキヲ得ナケレバナラヌヤウナ關係カラ致シマシテ、恩給法ニ於キマシテ准教員ト云フモノニ恩給ヲ支給スル方法ハ、今日ノ制度デマダ立ッテ居ラスノデアリマス、次ニ通算ノ御尋デゴザイマスガ、是ハ只今ノハ御意見デアッタカト思ヒマスルガ、或ハ御尋デゴザイマシタカ知レマセヌ、准教員ナドガ通算ヲシテヤルヤウニスレバ、早ク正教員ニナリハシナイカト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、私

共ガ見テ居リマス所デハ、ソレヲ致スニハ、却テヤラス方ガ早クナリハシナイカ、即チ一日モ早く正教員ニナラスト恩給ヲ貰ヘナイト云フヤウナコトデ、早ク正教員ニナリハシナイカ、之ニ反シマシテ通算ヲシテヤルト云フヤウナコトハ、最後ノ罷メル時マデニ正教員ニナレバ宜イト云フヤウナコトニナッテ、通算ト云フコトハ決シテ獎勵ノ方法デハナイト考ヘテ居リマス、併ナガラ一面ニ於テハ是等ノモノノ爲メニ何カ將來相當ナル慰安ト申シマスカ、相當ニ生計ノ立チマス方法ガナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、此點ニ就テハ、實ハ私共ハ互助法ノ制定ニ依リマシテ、是等ノ者ヲ救済シタラバ、ドウカト云フス様ナル見込ヲ持ッテ居リマスヤウナ次第デアリマス、ドウモ他トノ權衡上、恩給、退職料ノ改正ノ中ニ入レルヨリハ寧ロ他ノ互助法其他ノ方法ニ依ッテ救済ヲスルト云フコトガ至當デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、隨テ是等ノ准教員ニ對シテ同情シテ居ラスト云フコトハナイ、他トノ權衡上サウスルヨリ外已ムヲ得ナイコト、考ヘテ居リマス

○荒川五郎君 前段ノ御説明ダケハ分リマシタガ、ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ差控ヘマス、後段ノ准教員ガ通算セラレルト、却テ進歩ガ遅レルト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、是ハ實際ニ於ケル其等ノ准教員ノ心理狀態ヲ御承知ナイモノト思ヒマス、人ハ苟モ世ニ立ツ以上ハ、進歩向上ヲ希望セヌ者ハナイノデアリマス、ソレガ通算セラレルカラ宜イト云フモノデハ、到底望ムニ足ラスモノデアリマス、皆一日モ速ク名譽アリ、サウシテソレニ伴フ待遇ノ得ラレル途ニ進ミタイノデアリマスカラ、只今御説明ノヤウナ事トハ事實ガ違フト思ヒマス、此准教員デ終ル者ハ全國ニ隨分アルノデアリマスガ、其等ガ相當ノ年齢ニ達シテ、モウ進取ノ氣性が消磨シカケントスル者ニ、一味ノ清涼劑ト云ヒマスガ活力ヲ與ヘルト云フコトハ、實際ニ於テ必要デアルト思ヒマ

スケレドモ、此以上ハ意見ノ相違ニナルコト、思ヒマスカラ、此點ハ打切りマスガ、更ニ御尋致シマスノハ、在職十五年未滿ノ教員ガ在職中死亡シタ場合ニハ、一時扶助金ノ給與方ガ規定サレテ居リマスガ、

然ルニ十五年以上ノ者ニハ此規定ガナイノデアリマス、十五年以上ニハ遺族扶助料ト云フモノヲ與ヘルカラ、一時扶助金ト云フモノヲ與ヘル規定ガナイノデアリマスガ、此遺族扶助料ヲ受クル權利ノ有ル者ハ、寡婦、孤兒、父母、祖父母ニ限定セラレテ居リマスカラ、其以外ノ者即チ此法律——市町村立小學教員退職料及遺族扶助料法ト云フ今改正セラレントスル元ノ法律ノ第十一條ニハ、其等ガアリマシテ寡婦、孤兒、父母、祖父母ト云フ者ノナイ場合ニモ、其戸籍内ニアル二十歳未滿ノ者トカ癱疾者クハ不具ニシテ產業ヲ營ム能ハザル兄弟姉妹トカ云フヤウナ直系近接者カ、近接者デアリマセヌデモ、其者ノ扶養ニ依ッテ立ツベキガ立チ得ラレス環境ニアル者ハ、併セテ遺族扶助料ヲ與ヘラレル、殊ニ一時扶助金ノ法ヲ設ケラレタル精神ニ對シテ妥當ト心得マス、此一點ニ於テ在職十五年未滿ノ者ハ恩典ヲ受ケテ、以上ノ者ガ恩典ガナイト云フ不權衡ヲ來シテ居ルト思フノデアリマスガ此點ハ如何デアリマスカ

○赤司政府委員 此退職料ノ制度若クハ一時扶助金或ハ扶助料ノ制度ハ、大體ニ於キマシテ、官吏ノ恩給法若クハ官吏ノ遺族扶助法ノ規定ニ則ッテ造ッテアルノデアリマス、唯タ特別ノ點ダケガ別ニナッテ居ルノデアリマシテ、今ノ支給其他ノ點ニ於キマシテ、出來ルダケハ官吏ノ恩給法ノ總テ標準ニ依ルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、扶助金ノ關係ニ於キマシテハ、是ハ大體官吏ノ一時給與金ト同ジヤウナ關係ニナッテ居リマスガ、其等ノ關係上ドウモ已ムヲ得ナイ事ト考ヘテ居リマス

○荒川五郎君 私ハ討論ハ致シマセヌガ、十五年未滿ニシテ一時扶助金ヲ與ヘラレル憫ムベキ家族ノレガ十五年以上デハ恩典ヲ受ケナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ斯ノ如キ法制ノ改廢ノ場合ニハ、最モ御注意ヲ要スベキモノト信ジマスガ、政府ハソレヲ斷然除外シテ宜シイト云フ意味デアリマスカ

○赤司政府委員 只今申シマシタ通り、學校職員ニ對シマシテ、出來ルダケ優遇ノ方法ヲ立テタイト云フコトハ當局ノ希望致シマス所デゴザイマスガ、又

是ト同時ニ他トノ權衡ヲモ餘程考慮セネバナラヌノ
デアリマス、只今ハ極ク簡單ニ大體ヲ申上ゲマシタ
ノデゴザイマスガ、扶助金ノ問題ニナリマスルト、
實ハ市町村立小學校ノ正教員ガ在職中死亡致シマシ
タトキニ受ケマス遺族ノ一時扶助金ハ、官吏ガ受ケ
マス所ノ扶助金ヨリ、金額ニ於テハ非常ニ割合ガ良
クナツテ居リ、官吏ヨリハ多少優遇ガ付イテ居リマ
スガ、是ハ程度ノ問題デゴザイマシテ、今日ニ於
キマシテハ矢張他トノ權衡ヲ圖リマシテ、此位ノ程
度ヲ以テ已ムヲ得ナイモノト斯様ニ考ヘテ居リマ
ス

○荒川五郎君 私ノ御質問申シタノハ十五年以上ノ
場合デ、遺族扶助料ヲ支給セラル、場合ハ、寡婦、孤
兒、父母、祖父母シカ居ラナイ場合ニハ、如何ニ此法
ガ優待的ニ出來テ居リマシテモ、更ニ恩典ヲ受ケナ
イ、ソコデ限ラナイデ、其以外ニ二十歳未満癡疾不
具ナ兄弟ト云フモノモ入レラレタラ宜カラウト思フ
爲メニ御尋シタノデアリマスガ、只今ノ御説明デ少
シクマダ疑ハ存シマスナレドモ、此點ハ此場合ニ止
メテ置キマス、更ニ此法制ヲ私共研究シテ質問ノ機
會ヲ與ヘラレンコトヲ希望シマス、マダ私共ハ是
等同情スベキ所ニ尙ホ法律ノ注ガレネバナラヌ
大事ナコトガアルト心得ルノデアリマス、次ニ教員
又ハ教育文官ガ、非教育文官ニ轉ジタ後ニ退職シテ、
官吏恩給等ヲ受クル場合ニ、教員在職中ノ年限ハ全
然無効ニ歸スル法律ニ、第八條ノ第三項ニ依ツテナ
テ居リマス、ソレハ第八條ノ第三項ニ、他ノ法律ニ
依リ退職料若ハ恩給ヲ受クルモノト、斯ウシテ之ヲ
除外シテアリマスカラ、只今ノヤウナ不公平ガ生ズ
ルノデアルト考ヘマス、如何デアリマセウ

○赤司政府委員 只今ノ御尋ハ少シ諒解シマセスカ
ラ、或ハ御答ガ間違ッテ居ルカ知レマセヌガ、詰リ第
八條ノ第三項ノ問題ハ……

○荒川五郎君 一寸申上ゲマス、第三項中ニ他ノ法
律ニ依リ退職料若ハ恩給ヲ受クル者ヲ、前二項ノ除
外ニシテアリマス、此除外ノアルガ爲メニ、教員又
ハ教育文官ガ、非教育文官ニ轉ジタ後ニ退職シテ官
吏恩給等ヲ受クル場合ニ、此教員在職中ノ年限ガ全

ク無効ニナル

○赤司政府委員 分リマシテゴザイマス、第八條ノ
第三項ノ規定ハ、是ハ退職給與金ノミニ關スル規定
デアアルノデゴザイマシテ、退職料ノ規定デハナイノ
デアリマス、御尋ノヤウナコトハ退職給與金ノ問題
ニハ或ハ起リマスカモ知レマセヌガ、退職料ノ問題
デハナカラウト考ヘテ居リマス

○荒川五郎君 大正九年法律第十號ガ出マシテカ
ラ、大正七年八月以後ニ行ハレテ七月以前ノ退職料
受領者ノ退職料ハ大正七年法律第二十二號改正ノ別
表ヲ適用シテ、勤続者ニ非サル者ニハ官吏恩給法第
五條ヲ適用スルヤウニセラレルト云フコトハ、双方
ノ權衡上必要デアアラウト思フノデアリマス、同ジ退
職料受給者ガ、退職ノ年月日ニ依ツテ差違ヲ生ズルト
云フコトハ甚ダ不公平デアリマシテ、法律ハ一視同
仁ノ精神ニ依ツテ有ラユル方面ニ成ベク公平ヲ期セ
ンケレバナラヌト思フ、特ニ此僅カナル給額ニ一生
ヲ送ル同情スベキ地方教員ニ向ッテハ、ソレ等ハ特ニ
注意ヲ拂ハレルトコトガ必要ト心得マスガ、如何デア
リマスカ

○赤司政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ先般來他ノ政府
委員ヨリ御答ヲ致シマシタ通りニ、數日則ニ當院ノ
御協賛ヲ經マシタル大正九年法律第十號中ノ法律案
ニ依ツテ始末ヲ着ケテアル筈デゴザイマス

○荒川五郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ疑ヲ生ジ
マシタガ、尙ホ研究シテ再質問ノ餘地ヲ願ヒマス、
次ニ第八條ノ第二項ニ「第二條若ハ第三條ニ依リ退
職料ヲ受クル者ハ他ノ法律ニ依リ退職料若ハ恩給ヲ
受クルコトヲ」云々トアリマス、若ハ恩給ヲ受クル
者ト云フコトハ之ヲ削ッテ何等差支ナイト思ヒマ
スガ、如何デスカ

○赤司政府委員 是ハ他ト、權衡上削ル譯ニ參ラス
ト考ヘテ居リマス、即チ第一條若ハ第三條ニ依ツテ退
職料ヲ受ケテ居ル者ハ、自己ノ便宜ニ依リ又ハ退職
退官シタル者ノ、又ハ免職ニ處セラレタヤウナ者ニ
ハ、退職給與金ヲ支給シナイ、斯ウ云フヤウナ關係
デアリマスカラ、他ノ矢張退職料又ハ他ノ恩給法ト
ノ關係上、是ハ削除スルコトハドウモ不公平ヲ惹起

シハシナイカト考ヘテ居リマス

○荒川五郎君 第四條ノ第二デアリマス、第四條ノ
二ニ其ノ他教育事務ニ從事スル文官トナリタルトキ
若ハ教官其ノ他教育事務ニ從事スル文官トナリタル
者、學校長、圖書館長、正教員、司書、保母、學生
監又ハ書記トナリタルトキハ各其ノ在官年數ヲ通算
シ、云々トアリマス、此文官ト教員ト交互ニ通算セ
ラレルト云フコトハ、一見宜シイヤウニ見エマス
ガ、併シサウスルト教員ヲ勤メ、郡視學或ハ縣視學ニ
ナリ、郡長ニナツタ者ノ如キハ、全ク此恩典ヲ受ケナ
イヤウナ振合ニナルト思ヒマスガ、是ガ地方教員ノ
進歩發展ノ爲メニモ、慰安ノ爲メニモ、宜シクナイト
心得マスガ、如何デアリマスカ

○武部政府委員 即チ教員カラ郡視學ニ轉ジ、更ニ
郡長ニナツテ罷メル者ニ對シテ、救済スル方法ガ無イ
デハナイカト云フ御尋デアリマスガ、今度ノ二十九
年法律第十三號ノ改正ハ、今ノ御尋ノヤウナ缺陷ヲ
補フ爲メニ規定シタノデアリマス

○荒川五郎君 ソレデハ私ノ研究ガ足ラヌモノト思
ヒマス、差換ヘマス、然レバ此軍人恩給法ト官吏恩
給法トヲ通算スルヤウニ、退職料ト各種恩給法ノ如
キモノ一切通算セラル、ト云フコトニナルノデアリ
マスカ

○武部政府委員 各種ノ退職料ト通算スルノデア
リマセヌ、教員カラ郡視學ニナリ、ソレカラ郡長ニ
ナツテ罷メルト云フ人ガアリマスガ、サウ云フ場合ニ
於テハ、今迄ハ小學校教員ノ退職料ヲ給スルト云フ
コトガ來ナカッタノデアリマスガ、今度ハ其場合ニ退
職料ノ方ヲ給スルヤウニシヤウト云フ意味デ拵ヘタ
次第デアリマス

○荒川五郎君 此退職料法ガ曩ニ發布セラレテ、サ
ウシテ大正七年ノ二十二號改正セラレ、更ニ大正
九年ノ法律第十號デ準用セラレ、ト云フ錯雜シタル
結果、實際退職料ヲ受クル者ニハ非常ナ厚薄ノ差違
ヲ生ズルノデアリマス、例ヘテ申セバ、二十四年勤続
シテ從來ノ恩給ガ二百二十六圓ノ者ガ、法律第十號
ニ依リマスト三百八圓トナリマス、隨テ是ハ三割六
歩弱ノ増額歩合ニ當リマス、之ガ二十四年、ソレカラ

二十六年勤績シテ從來退隱料二百一圓ノ者ガ法律十號ニ依ッテ二百二十四圓トナリマス、之ガ増額歩合六割六歩ニ當リマス、然ルニ只今ノ二例以上ニ三十二年勤績シタ者ガ、從來ノ恩給三百四十五圓ノ者ガ、法律十號ニ依ッテ三百九十一圓トナリマス、是ハ僅カニ一割三步ノ増額歩合ニ止マリマス、尙ホ更ニ三十五年勤績シタ者ハ、從來恩給四百八十圓之ガ十號僅カニ一步シカ増加シナイ、是ハ法律ガ澤山重リ合ッタ結果デアアルノデ、只今例ヲ省キマシタガ八割以上ノモノモアリ、少キハ一割ニモ及バヌ——一步餘リニナルノモアリマスガ、斯カル不公平ナコトデハ折角退隱料ヲ受ケル者ガ非常ニ心持ヲ惡クスルノデアリマスカラ、法律ヲ改正スル場合ニ於テハ、其ニ注意セラレルコトガ必要ト心得マスガ、如何デアリマスカ

○武部政府委員 只今ノ御尋ニ付テハ、此三項ヲ是等ノ場合ニ適用スルコトニナリマスカラ、即チ只今ノ御尋ノヤウナ場合ガ救済サレルヤウニナルト思ヒマス

○荒川五郎君 左様ニハ參リマセスト心得マス——實際ノ適用ハ左様ニ參ラスト心得マスガ、如何デアリマスカ

○武部政府委員 サウ云フヤウナノ救済スル積リデ拵ヘマシタノデ、今ノヤウナ場合ハ皆救済ガ出來ルト考ヘテ居リマス、尙ホ申シマスガ、去年公布ニナリマシタ法律ニ基キマシテ、更ニ勅令ノ二百七十八號ニ照シテ、昨年ノ七月一日以前ニ於テ退隱料ヲ受ケテ居リマス者ノ退隱料ヲ算出スルニ當ッテ、其算出ノ基礎トナッテ居ル俸給額百二十圓以上ニ達シタ者ハ、今回繼足シマシテ別表ニ據ルヲ至當ト致シマシテ、之ニ據ラシムルコトニ致シマシタ、若シ其表ニ據ラナイト致シマシタ場合ニ於テハ、從來ノ別表ニ據ラシムルヤウニスレバ、百三十圓以上ドレダケ高イ俸給ニナッテモ、百三十圓ト云フ迄ノ退隱料ヲ受ケルニ止マッテ居テ、即チ昨年ノ法律第十號ノ趣旨ヲ徹底サセルコトハ出來マセスカラ、今回此改正法律トシテ、ソレ等ニ適用スルコトニナルノデアリマス、御懸念ノヤウナ場合ハ今度救済シ得ルト思ッテ居リマ

ス
○荒川五郎君 一昨日本案ヲ出サレマシテ以來、勉強シテ調べタ積リデアリマシテ、其結果不審ヲ生ジタノデアリマスガ、然ラバ私ノ取違ヒデアラウト考ヘマス、ソレハ擱キマシテ、モウ一箇所御尋シタイノハ、此附則ノ第二項、是ハ特ニ置カナケレバナラヌ必要ハドウ云フノデアリマスカ

○武部政府委員 是ハ出來得ルナラバ、此際皆斯ウ云フヤウナ規定ヲ置カヌノガ宜イカモ知レマセスケレドモ、併シ實際上ノ關係カラ其必要モ事實アルノデアリマス、ソレハ從來現職ヲ退キ、退隱料ヲ受ケマシテ再ビ囑託教員トシテ就職スル者ノ中ニハ、往々ニシテ學校長トノ間ニ此内意ノ疏通ガアッテ、即チ相談シテ再ビ就職シテ居ル者ガアルコトハ、荒川君モ御存知ノ事デアリマス、是等ノ者ニ對シテ一旦停止ヲ解イテ全額ヲ支給スルコトニナルト、他ノ教員ト權衡ヲ失スルヤウナ場合モ起リマス、サウ云フコトニナレバ、學校職員ノ待遇上秩序ノ紊レルコトモ起リマスカラ、サウ云フ點ヲ考慮シテ、一年間ノ言ハハ猶豫期間ヲ置イテ、此間ニ相當ナ方法ヲ取ラシメル必要カラ斯ウシタ次第デアリマス、是ハ實際學校ノ事情、サウ云フヤウナ關係ガアルダウト考慮シテ居リマス

○佐藤寅太郎君 師範學校長ノ俸給ハ矢張教育資金ノ利子ノ中カラ出テ居リマスカ

○武部政府委員 教育資金ノ利子カラ支出スルコトハ豫算上今日ゴザイマセヌ、豫算ハ當初教育基金ト云フモノガ出來マシテ、其利子ハ到底五十萬圓ヲ產ムト云フコトハアリマセヌカラ、豫算上支出致シテ居リマセヌ、併ナガラ此教育基金ノ利子ニ相當スル金額ヲ出スト云フヤウナ意味デ、數年前山本内閣ノ行政整理ノ時デアリマシタカ、其前ダツタカ——最近ニ於テ臨時事件費等ニ依ル増額ノ支出ヲ繰越シタヤウナコトガアリマス、サウ云フヤウナ關係等カラシテ、只今デハ彼ノ豫算ト云フモノハ、教育基金ノ利子ニ相當スルヤ否ヤ、或ハソレ以上ニ上ッテ居ルト思ヒマス

○佐藤寅太郎君 サウスルト教育資金ノ利子五十萬圓ト云フモノニ相當スル以上ニ、師範學校長ノ俸給ハ出テ居リマスカ

○武部政府委員 師範學校長ノ俸給ハ五十萬圓以下デアリマススケレドモ、此教育基金令ニ依ッテ支出シテ居ル金ハ、當初ノ教育基金ノ利子以上ニナッテ居ルト御承知ヲ願ヒマス

○佐藤寅太郎君 其内容ハ五十萬圓以上ト思ヒマスガ、今マデハ五十萬圓ノ中十四萬圓ガ師範學校長ノ俸給デ、三十萬圓ガ賞與金ニ廻ッテ、五萬圓ノ獎勵金ハ俸給ノ方ヲ食ッテ居リマスカ

○赤司政府委員 只今委シイ數字ヲ持ッテ居リマセスカラ、極ク大體ノ數字デゴザイマス、大體普通教育獎勵費五萬圓ト一口ニ言ッテ居リマスガ、金額ハ殆ト五萬圓以上ニナッテ居リマス、五十萬圓ノ中カラ府縣ニ配當シテ居リマスノガ近年増額シテ約三十萬圓ノ賞與金 師範學校長ノ俸給ニ充ルノガ、前ノ臨時手當ヲ本俸ニ換算シテ約十五萬圓、殘リノ五萬圓ガ通俗教育獎勵費、大體斯ウ云フコトニナッテ居リマス、無論端金ハ附イテ居リマス

○佐藤寅太郎君 内容ハ分リマシタガ、兎ニ角最初教育基金トシテ政府ガ支出シテアル其利子ニ該當スル五十萬圓デアリマスカラ、一般教育獎勵法ニ基イテ、師範學校長ノ俸給マデソレヲ打算シ、純粹ニ國庫ノ一般會計カラ出ス方ガ穩カデハナイカト思ヒマスガ、如何デス

○赤司政府委員 文部省トシテハ教育振興上致シタイ事業モ澤山アリマス、又府縣ニ於テモ爲シタイ事業モ相當アリマスカラ、是等ノ金額ヲ増加シテ、府縣ニ相當ノ金ヲ給與スルコトヲ希望シテ居リマスガ實ハ財政ノ都合上遺憾ナガラ、師範學校長ノ俸給ハ別ナ項目ヲ立テル所マデニ參ッテ居リマセヌ譯デアリマス
○委員長(八田宗吉君) 今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ニ開會致シマス
午後零時一分散會